

第2期たまの版生涯活躍のまち基本計画【事業実施報告】

I 観光振興による交流人口の増加と移住推進							
No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度(第2期計画1年目)事業実績		令和4年度(第2期計画2年目)事業実績	
				取組内容	決算額(円)	取組内容	決算額(円)
1	創業アシスト奨励金事業	若年者や女性の雇用を確保し、商業の活性化を図るため、また魅力的な観光関連店舗の創業を促進するため、小売業、飲食業、宿泊業等の新規創業者に奨励金を交付する。	商工観光課	市内の新規創業者に奨励金を交付し、商業の活性化と同時に若年者・女性・転入者の雇用創出を図った。 ＜補助実績＞ 3,700,000円(5店舗) [内訳] ・基本額 50万円×5件(加算金) ・若年者創業30万×3件 ・女性創業10万×2件 ・転入者創業10万円×1件	3,700,000	市内の新規創業者に奨励金を交付し、商業の活性化と同時に若年者・女性・転入者の雇用創出を図った。 ＜補助実績＞ 7,000,000円(9店舗) [内訳] ・基本額 50万円×9件(加算金) ・若年者創業30万×5件 ・女性創業10万×5件 ・転入者創業10万円×5件	7,000,000
2	特産品協議会運営補助事業	外部講師による特産品の開発、販路開拓等の支援を行うことで、収益性が高く、売上げが期待できる市内事業者による特産品の開発を促進する。	商工観光課	アフターコロナを見据えた観光推進に向け、地域の活性化と地場産業の振興を図るべく、観光地域づくり法人の設立に係る検討を行った。 また、地域産品の販路拡大に向けた取組として、民間事業者が運営する通販サイトへの特集ページ掲載や、百貨店等での物産展の実施、地域事業者に向けたスキルアップセミナーの開催等を行った。(新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントへの出展は縮小)	6,500,000	アフターコロナを見据えた観光推進に向け、地域の活性化と地場産業の振興を図るべく、観光地域づくり法人の設立に係る検討を行った。 県内外のイベント等に参加し、市内の特色ある資源を活かした魅力的な特産品及びご当地グルメのPRに取り組んだ。 ＜主な実績＞ [開発研究事業] ・お宝たまの印認定商品 74品(令和4年度 2品追加)	1,500,000
3	観光おもてなし推進事業	ボランティアガイドと高校生・大学生等の若者が連携して、宇野港周辺で外国人観光客に対するガイドを行うことで、観光地としての魅力の発信・向上を図る。	商工観光課	＜観光客受入対策事業委託料＞ 本市を訪れる観光客等に対し、おもてなしの質を向上させるため、瀬戸内国際芸術祭公式作品「JR宇野みなと線アートプロジェクト」の八浜駅アートデザイン床面塗装工事、「宇野のチヌ」「宇野コチヌ」のお色直し、宇野港周辺のマップ制作や地元の食を提供する「食プロジェクト」などを実施した。 また、全国へ本市の魅力を発信するため、観光情報冊子「WONDERFUL SETOUCHI」に情報を掲載した。 本市を訪れる外国人観光客に対し英語で観光案内を行うための資料作成について、たまの観光ボランティアガイドつっじの会の活動内で行った。 ツーリズムEXPOジャパンへの出展については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催が延期となったため、出展を見送った。	6,589,295	本市を訪れる観光客等に対し、おもてなしの質を向上させるため、瀬戸内国際芸術祭2022の開催にあわせて、宇野港案内所の運営や宇野港周辺マップの作成、作品のメンテナンス等を実施した。 ＜主な実績＞ [観光客受入対策事業] (1)瀬戸内国際芸術祭2022開催に伴う宇野港案内所の設置及び運営等(玉野市観光協会へ委託) (2)瀬戸内国際芸術祭2022開催に伴う観光案内、おもてなし、情報発信等(瀬戸内国際芸術祭たまの☆おもてなし推進委員会へ委託) (情報発信・受入整備事業) 4月14日 オープニングイベント、マルシェ開催 8月19日～24日 作品写真展示 8月20日 オリジナル塩作りワークショップ(参加者:65名) 8月30日～9月4日 作品写真展示、クイズラリー 10月3日～12月2日 市内周遊型イベント「ART HOPPING POINT RARRY」 12月20日～1月15日 宇野駅前イルミネーション(共催事業) ・宇野港マップ増刷(1万部) ・アート作品の照明器具修繕(宇野のチヌ、宇野コチヌ、舟底の記憶) ・作品銘板の作成(S.F.(Seaside Friction)) (企画開発事業) ・汐まち玉野の食プロジェクトたまの塩によるお弁当販売(2種類)¥1,500円 販売食数:1,618食 (たまの学生ガイド事業) ・ボランティアガイドプログラム 実施回数:7回 参加生徒:82人 ・こえび隊体験プログラム 実施回数:3回 参加生徒:17人 [外国人観光客案内業務](玉野市観光協会へ委託) 本市を訪れる外国人観光客に対して、英語での観光案内を実施した。案内業務は土日祝において、たまの観光ボランティアガイドつっじの会とあわせておこなった。実施回数 28回 [みなとオアシス観光客受入対策事業](玉野市観光協会へ委託)	6,589,295

No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度(第2期計画1年目)事業実績		令和4年度(第2期計画2年目)事業実績	
				取組内容	決算額(円)	取組内容	決算額(円)
						<p>みなとオアシス宇野における賑わい創出を図るイベント及び宇野港周辺店舗マップの作成をおこなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本と海辺のマルシェ 日程 3月19日 会場 宇野港第一突堤緑地 人数 400人 ・JAFドライブスタンプラリー 日程 4月20日～12月23日 人数 2,778人(みなとオアシス宇野立寄人数125人) ・宇野港周辺店舗マップの作成 	
4	定住推進事業	移住希望者に対し、IJUコンシェルジュによる各種相談の支援と短期間滞在等に係る費用の補助等を行うことで、本市への移住・定住を促進する。	総合政策課	<p>移住者の増加を図るため、各種取組を実施した。例年、東京、大阪等で実施されている移住相談会が新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンライン開催となったため旅費、駐車場使用料、会場借上料、定住相談会負担金の執行がなかった。</p> <p><たまの暮らしスタート支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・たまの暮らしスタート支援事業 20件 <たまのIJUコンシェルジュ業務委託> ・移住者数:12組22人 ・相談件数:124件 ・空き家出張相談:10回開催(相談件数47件) 	4,178,090	<p>移住者の増加を図るため、IJUコンシェルジュと連携し、各種取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 177件 <たまの暮らしスタート支援事業> ・たまの暮らしスタート滞在助成金 25件 <たまのIJUコンシェルジュ業務委託> ・移住者数 12組20人 ・空き家出張相談 11回開催(相談件数30件) <移住相談会> ・東京2回、大阪3回、オンライン6回 ・相談件数 75件 <移住支援金事業補助> ・移住支援金 単身1件、世帯1件 	4,635,480
5	わくわく地方生活実現政策パッケージ推進事業	東京圏に5年以上在住または通勤していた者が、本市に移住し中小企業等へ就職する等、一定の要件を満たした場合に、移住支援金を交付することにより、移住・定住を促進及び中小企業等の人材不足の解消を図る。	総合政策課	補助金交付案件なし	—	<p>本市へ移住し、一定の就労要件を満たした者に対して、支援金の交付を行った。</p> <p><補助実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単身1件 600,000円 ・世帯1件 1,000,000円 	1,600,000
6	シティセールス推進事業	市役所若手職員で構成する「まちの広報部」に外部団体を加え、若手を対象に市内を巡るデートコースマップの作成や、子育て世代などを対象にカメラ部を発足し、撮影会や展示会の開催など、市の魅力PRや郷土愛の醸成を図る。	秘書広報課	<p>本市の知名度向上を図るため、多様なメディアの活用により、効果的な情報発信を行い、本市の魅力を広くPRし、シティセールスを推進した。</p> <p>たまのモデルデートコース、若者版広報紙、すみたまフォトコンテスト展示会、ストリートピアノ設置 等</p>	266,321	<p>本市の知名度向上を図るため、多様なメディアの活用により、効果的な情報発信を行い、本市の魅力を広くPRし、シティセールスを推進した。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、アフターコロナを見据え、観光振興、移住促進、特産品等のPRを多角的・一体的に推進するため、訴求力の高いタレントを起用した電子雑誌、紙冊子、動画を作成し、これらを用いた広告宣伝業務を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たまのモデルデートコース ・若者版広報紙 ・すみたまフォトコンテスト2022 ・ストリートピアノ設置 ・旅色(電子雑誌・紙冊子・動画) 等 	26,151,960
7	空家等対策事業【空き家改修事業補助】	本市への移住・定住の促進を図るため、空家バンクや空家改修補助制度等を通じて、市内に存在する比較的状态の良い空家の掘り起こしや利活用を推進する。	都市計画課	<p>空き家等の住宅に係るリフォーム費用を補助することにより、空家の有効活用、適正管理を促進するとともに、市内在住者の定住や市外からの移住促進を図った。(補助率1/2、上限50万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7件 3,465,000円 ・1件 500,000円(前年度からの繰越分) 	3,965,000	<p>空き家等の住宅に係るリフォーム費用を補助することにより、空家の有効活用、適正管理を促進するとともに、市内在住者の定住や市外からの移住促進を図った。(補助率1/2、上限50万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10件 3,043,000円 老朽化した危険な空家の除却に係る費用を補助することにより、市民の生活環境の保全を図った。(補助率1/3、上限50万円) ・7件 3,421,000円 	6,464,000
8	観光地域づくり法人(DMO)の設立の検討	瀬戸内国際芸術祭の開催という機会も活かしながら効果的に域外からの誘客、観光消費を促進させ、人口減少により縮小する地域経済の維持。活性化を図るため、観光地域づくり法人の設立に向けた検討を深めるとともに、所要の調査や観光戦略の構築を行う。	商工観光課	事業No.2特産品協議会運営補助事業の中で検討した。		事業No.2特産品協議会運営補助事業の中で検討した。	

II 健康に暮らせるまちづくりの推進

No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度事業実績		令和4年度(第2期計画2年目)事業実績	
				取組内容	決算額(円)	取組内容	決算額(円)
1	健康増進事業	健康たまの21計画に基づき、主に成人期、高齢期の心身機能の維持、向上のために、がん検診をはじめとした各種健康診査による疾病の早期発見、早期治療を推進する。 また、「たまの未来会議」において提案のあった生活習慣病予防のための健康レシピの動画配信など食育推進や、口腔ケアや運動などの普及啓発を実施するとともに、メンタルヘルスの健康相談などを実施し健康寿命の推進を図る。	健康増進課	健康増進法に基づき、市民の健康の増進を図るため栄養改善及び生活習慣の改善に関する業務、健康増進事業を実施した。 <検診等> ・後期高齢者健康診査 1,127件 ・肺がん検診(胸部レントゲン) 4,164件 ・胃がん検診(胃内視鏡) 828件 ・胃がん検診(X線) 768件 ・大腸がん検診 3,171件 ・乳がん検診(視触診・マンモ) 2,032件 ・子宮頸がん検診 1,848件 ・前立腺がん検診 697件 ・骨粗しょう症検診 294件 ・肝炎ウイルス検査 337件 ・歯周疾患検診 3件 <(独)環境再生保全機構助成事業> [健康相談事業] ・COPD講演会(1回) 19人 ・COPD個別相談会(5回) 71人	73,679,006	健康増進法に基づき、市民の健康の増進を図るため栄養改善及び生活習慣の改善に関する業務、健康増進事業を実施した。 <検診等> ・後期高齢者健康診査 1,351件 ・肺がん検診(胸部レントゲン) 4,253件 ・胃がん検診(胃内視鏡) 885件 ・胃がん検診(X線) 719件 ・大腸がん検診 3,169件 ・乳がん検診(視触診・マンモ) 2,046件 ・子宮頸がん検診1,835件 ・前立腺がん検診711件 ・骨粗しょう症検診290件 ・肝炎ウイルス検査314件 ・歯周疾患検診16件 <(独)環境再生保全機構助成事業> [健康相談事業] ・COPD講演会(3回) 63人 ・COPD個別相談会(5回) 89人	77,108,586
2	食育推進事業	玉野市食育推進計画に基づき、市民の食に対する意識の向上を図ることを目的に、食と健康に関心をもつことや、食の大切さを理解し、食に感謝する気持ちを育てるために、関係団体と連携し食育事業を推進する。	健康増進課	食育基本法に基づき、食育の普及啓発を通じて、市民の健康維持を図った。 <主な事業> ・玉野市食育推進協議会 玉野市食育推進計画に基づく食育の推進を図ることを目的に玉野市食育推進協議会を開催した。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面決議とした。 ・食育推進事業 食育の普及啓発及び推進活動を、玉野市食育推進協議会に委託し実施した。令和3年度は、感染対策として、講演会や試食等とはりやめ、市内商業施設にて、掲示を中心とした食育展を開催した。 ・親子食育教室事業 玉野市栄養改善協議会に事業委託をしている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団方式での教室開催は中止とし、テキスト配布を行い啓発活動を中心に行った。	483,500	食育基本法に基づき、食育の普及啓発を通じて、市民の健康維持を図った。 <主な事業> ・玉野市食育推進協議会 玉野市食育推進計画に基づく食育の推進を図ることを目的に玉野市食育推進協議会を開催した。 ・食育推進事業 食育の普及啓発及び推進活動を、玉野市食育推進協議会に委託し実施した。 ・親子食育教室事業 玉野市栄養改善協議会に事業委託し実施した。令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団方式での教室開催は縮小し、野菜摂取量チェック機材を用いた啓発活動を中心に行った。 親子食育教室 19園(教室開催・情報提供)	1,050,000
3	愛育委員協議会運営補助事業	地域から選出された愛育委員による乳幼児から高齢者までのライフステージに合わせた声かけ、見守り活動など、住民相互のつながりを強めた健康づくりの活動を支援する。	健康増進課	愛育委員協議会の活動を支援するため、運営費の補助を行った。 <主な愛育委員活動> ・母子保健活動 ・生活習慣病予防活動 ・禁煙啓発活動 ・精神保健活動など地域の健康づくり事業	1,968,000	愛育委員協議会の活動を支援するため、運営費の補助を行った。 <主な愛育委員活動> ・母子保健活動 ・生活習慣病予防活動 ・禁煙啓発活動 ・精神保健活動など地域の健康づくり事業	1,968,000
4	栄養改善協議会運営補助事業	栄養委員による地域住民への健康のためにより食習慣の普及啓発と実践の和を広げるための活動を支援する。	健康増進課	栄養改善協議会の活動を支援するため、運営費の補助を行った。 <主な栄養委員活動> ・食生活改善活動 ・食育推進活動 ・健康づくり推進活動	1,068,000	栄養改善協議会の活動を支援するため、運営費の補助を行った。 <主な栄養委員活動> ・食生活改善活動 ・食育推進活動 ・健康づくり推進活動	1,068,000
5	健康マイレージ事業	市民の健康に関する意識向上や特定健診やがん検診等の受診率向上につなげるため、検診をはじめとした各種健康事業への参加に対してポイントを付与し、健康意識の向上を促す健康マイレージ事業を推進する。	健康増進課	市民の健康づくり等への動機付け等を目的とした「健康マイレージ事業(健康たま〜ポイント)」を実施した。 ・実施期間 令和3年4月1日～令和4年3月1日 ・応募者数 778人	573,838	市民の健康づくり等への動機付け等を目的とした「健康マイレージ事業(健康たま〜ポイント)」を実施した。 ・応募者数 870人	573,952

No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度事業実績		令和4年度(第2期計画2年目)事業実績	
				取組内容	決算額(円)	取組内容	決算額(円)
6	特定健康診査等事業	生活習慣病(糖尿病、脂質異常症、高血圧等)の発症予防・重症化予防を目的として、40歳以上の国民健康保険加入者を対象に、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した特定健康診査を行う。	保険年金課	高血圧性疾患や糖尿病等生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として、玉野市国民健康保険の40歳以上75歳未満の被保険者を対象に特定健康診査を実施し、この該当者及び予備群を減少させるため、特定保健指導を実施した。 ・特定健康診査 2,846人 ・特定保健指導 81人	32,955,608	高血圧性疾患や糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として、玉野市国民健康保険の40歳以上75歳未満の被保険者を対象に特定健康診査を実施し、この該当者及び予備群を減少させるため、特定保健指導を実施した。 ・特定健康診査 2,645人 ・特定保健指導 92人	33,424,817
7	特定保健指導	特定健康診査の結果から、メタボリックシンドロームのリスクが高い人を抽出し、生活習慣病の発症予防を目的とした医師、保健師、管理栄養士等による健康な生活習慣づくり支援を行う。					
8	老人クラブ運営補助事業	高齢者が生きがいを持って生活するため、健康づくりや地域社会活動に参加する機会を促進するとともに、ボランティア活動や世代間ふれあい事業、健康増進事業の活動を推進するため、老人クラブへ運営助成を行う。	長寿介護課	単位老人クラブと老人クラブ連合会に対して助成を行い、老人クラブの育成を通じて、会員の生きがいづくりと健康づくりの推進を図った。 ・クラブ数 60クラブ ・会員数 3,280人(令和4年1月31日現在)	4,914,572	単位老人クラブと老人クラブ連合会に対して助成を行い、老人クラブの育成を通じて、会員の生きがいづくりと健康づくりの推進を図った。 ・クラブ数 55クラブ ・会員数 2,899人(令和5年1月31日現在)	4,765,364
9	高齢者ふれあいいきいきサロン事業	高齢者の生きがいづくりや社会参加を図ること目的に、市内の集会所、コミュニティハウス等、地域の实情に応じた住民の集会所に、ふれあいいきいきサロンを設置し、地域の高齢者等が気楽に集い、自主的な活動を通じて交流を行う団体の運営補助を行う。	長寿介護課	高齢者が地域の集会所等に自主的に集まり、健康体操やレクリエーション、茶話会等を開催し、高齢者のいきがいづくりや社会参加の推進を図った。 ・サロン数 32サロン ・開催回数 720回 ・参加延人数 4,708人 新型コロナウイルス感染症の蔓延により、活動が減少した。	907,200	高齢者が地域の集会所等に自主的に集まり、健康体操やレクリエーション、茶話会等を開催し、高齢者のいきがいづくりや社会参加の推進を図った。 ・サロン数 61サロン ・開催回数 950回 ・参加延人数 8,039人	828,849
10	いきいき百歳体操	地域の身近な通いの場として、定期的に地域の仲間と集い、百歳体操を実施することで、高齢者の健康寿命の増進を図る。	長寿介護課	地域の身近な場所で百歳体操を実施することで、高齢者の健康の保持増進を図った。 ・116カ所	-	地域の身近な場所で百歳体操を実施することで、高齢者の健康の保持増進を図った。 ・118カ所	-

Ⅲ 地方創生人材育成と交流推進

No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度事業実績		令和4年度(第2期計画2年目)事業実績	
				取組内容	決算額(円)	取組内容	決算額(円)
1	たまの創生人材育成推進事業	児童生徒の郷土理解(市内産業理解)の促進やこれからの社会で望まれる資質・能力を育むため、児童生徒の市内企業見学や中学校2年生の職場体験学習等、学校におけるキャリア教育を行う。	学校教育課	小・中・高等学校の企業見学等のキャリア教育を実施した。中学2年生405名を対象としたチャレンジ・ワークは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の学校では、企業見学に替えて職業インタビューを行う等各校で工夫して実施した。その他、社会人交流を通じたキャリア教育を実施した。	701,614	小・中・高等学校の企業見学等のキャリア教育を実施した。中学2年生392名を対象としたチャレンジ・ワークは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の学校では、企業見学に替えて職業インタビューを行う等各校で工夫して実施した。その他、社会人交流を通じたキャリア教育を実施した。	1,380,027
2	地域学校協働本部事業	未来を担う子どもたちの豊かな成長のために、地域住民や保護者の経験、特技を活かし、ボランティアとしての学校協働活動を行う。	社会教育課	<p>■おかやま子ども 応援事業</p> <p>地域のボランティア指導者や協力者のもとで、子どもが自主的に参加し、各種活動を行う「子ども楽級」や「おさらい会」を実施した。</p> <p>市内の全幼稚園、小・中学校及び希望する保育園において「子育て・親育ち講座」を開催した。</p> <p>未来を担う子ども達の豊かな成長のために、地域の方や保護者の経験、特技を生かし、ボランティアとしての学校協働活動を行った。</p> <p>令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、規模・期間を縮小することとなった。</p> <p><子ども楽級></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全14小学校区 ・年間開催回数 780回 ・参加児童人数 延べ2,421人 ・協力者人数 延べ2,106人 <p><おさらい会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内13小学校区 ・年間開催回数 94回 ・参加児童人数 延べ1,328人 ・協力者人数 延べ748人 <p><子育て・親育ち講座></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファンリテーター養成講座 1回 8人 <p><協働活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施校 23校園 ・ボランティア数 延べ27,500人 	6,735,924	<p>■おかやま子ども 応援事業</p> <p>地域のボランティア指導者や協力者のもとで、子どもが自主的に参加し、各種活動を行う「子ども楽級」や「おさらい会」を実施した。</p> <p>市内の全幼稚園、小・中学校及び希望する保育園において「子育て・親育ち講座」を開催した。</p> <p>未来を担う子ども達の豊かな成長のために、地域の方や保護者の経験、特技を生かし、ボランティアとしての学校協働活動を行った。</p> <p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、活動内容を制限して実施した。</p> <p><子ども楽級></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全14小学校区 ・年間開催回数 1,007回 ・参加児童人数 延べ4,324人 ・協力者人数 延べ4,038人 <p><おさらい会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内13小学校区 ・年間開催回数 141回 ・参加児童人数 延べ1,771人 ・協力者人数 延べ1,078人 <p><子育て・親育ち講座></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファンリテーターパワーアップ講座 1回 7人 ・講演会 14回 269人 ・親育ち応援学習プログラム 13回 199人 ・親のグッドスタート 4回 62人 <p><協働活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施校 23校園 ・ボランティア数 延べ11,316人 	7,104,853
3	地域子ども楽級推進事業	地域で子どもたちを育てる体制を構築し、様々な活動体験や世代間交流など地域に根ざした活動を行う「子ども楽級」や基礎学習の習得を支援する「おさらい会」を実施することにより、学校・家庭・地域の教育力の向上を図る。	社会教育課	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス対策としてオンライン上でプログラムを中心に行い、延べ約50名の外国人と生徒が参加した。活動を通して、地域とのつながりを意識できるようになり、学校・学年を越えたつながりや、国際感覚を養うきっかけとなるなど、様々な面で成果が見られた。</p> <p>(SETOUCHI魅力発信プログラム・国際交流実践プログラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間実施回数 全6回 ・延べ参加人数 51名 ・主なプログラムのテーマ <p>「ガイドの基本」「瀬戸内国際芸術祭とは？」等</p>	—	<p>令和4年度は地域のボランティアガイドなどと連携し、瀬戸芸2022を題材に観光客や留学生などを対象に瀬戸内のガイドを行う「瀬戸芸ボランティアガイドプログラム」や、「こえび隊体験プログラム」を実践した。延べ約200名の外国人と生徒が参加した。活動を通して、地域とのつながりを意識できるようになり、学校・学年を越えたつながりや、国際感覚を養うきっかけとなるなど、様々な面で成果が見られた。</p> <p>(SETOUCHI魅力発信プログラム・国際交流実践プログラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間実施回数 全13回 ・延べ参加人数 209名 ・主なプログラムのテーマ <p>「ガイドの基本」「瀬戸内国際芸術祭とは？」等</p>	—
4	スチューデントガイド推進事業	瀬戸内国際芸術祭期間中の宇野港等において、NPO・地域団体・岡山大学等と連携し、玉野市の中高生の積極的なおもてなし活動を支援・促進することで、主体性、コミュニケーション力、創造力、国際性等を育成する。(予算は商工観光課:観光おもてなし推進事業に含まれる)	社会教育課	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス対策としてオンライン上でプログラムを中心に行い、延べ約50名の外国人と生徒が参加した。活動を通して、地域とのつながりを意識できるようになり、学校・学年を越えたつながりや、国際感覚を養うきっかけとなるなど、様々な面で成果が見られた。</p> <p>(SETOUCHI魅力発信プログラム・国際交流実践プログラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間実施回数 全6回 ・延べ参加人数 51名 ・主なプログラムのテーマ <p>「ガイドの基本」「瀬戸内国際芸術祭とは？」等</p>	—	<p>令和4年度は地域のボランティアガイドなどと連携し、瀬戸芸2022を題材に観光客や留学生などを対象に瀬戸内のガイドを行う「瀬戸芸ボランティアガイドプログラム」や、「こえび隊体験プログラム」を実践した。延べ約200名の外国人と生徒が参加した。活動を通して、地域とのつながりを意識できるようになり、学校・学年を越えたつながりや、国際感覚を養うきっかけとなるなど、様々な面で成果が見られた。</p> <p>(SETOUCHI魅力発信プログラム・国際交流実践プログラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間実施回数 全13回 ・延べ参加人数 209名 ・主なプログラムのテーマ <p>「ガイドの基本」「瀬戸内国際芸術祭とは？」等</p>	—

No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度事業実績		令和4年度(第2期計画2年目)事業実績	
				取組内容	決算額(円)	取組内容	決算額(円)
5	インターンシップ推進事業	<p>市立高等学校2年生を対象に、市内の事業所で就業体験等を実施し、市内企業の魅力・特色を知る機会を与え、地元就職を促進するとともに、生徒への指導を通じ企業で働く従業員の人材育成に繋げる。</p> <p>将来的には、高校生・企業・地域間の連携を強化させ、地域課題の解決・地域活性化にも資する取組への発展を検討する。</p>	商工観光課	<p>【定住促進協力企業等発信事業】 市内企業を紹介する冊子「たまのの企業ガイド」を更新し、市内高校等に配布した。併せてSNSにより情報発信することで相乗効果を生み、地元企業の情報を広く提供し、地元就職・定住促進を図った。</p> <p><たまのの企業ガイド> [掲載企業数] 59社 (うち、たまのの定住促進協力企業 13社) [作成冊数] 1,500冊</p> <p><SNS発信> 一般財団法人 玉野産業振興公社に委託して実施「Twitter」「Instagram」「Facebook」を利用 [実績] ・掲載社数 9社 ・投稿数 102件 ・フォロワー数 122人 ・いいね件数 836件</p>	1,874,500	<p>市内企業を紹介する冊子「たまのの企業ガイド」を更新し、市内高校等に配布した。併せてSNSにより情報発信することで相乗効果を生み、地元企業の情報を広く提供し、地元就職・定住促進を図った。</p> <p><たまのの企業ガイド> [掲載企業数] 58社 (うち、たまのの定住促進協力企業 14社) [作成冊数] 1,500冊</p> <p><SNS発信> 一般財団法人 玉野産業振興公社に委託して実施 「Twitter」「Instagram」「Facebook」を利用 [実績] ・掲載社数 9社(R04) 18社(累計) ・投稿数 69件(R04) 171件(累計) ・フォロワー数 191人 ・いいね件数 464件(R04) 1,300件(累計)</p>	2,190,650
6	地元就職促進事業	<p>産官学が連携し、求人情報の提供や説明会等を開催し、市内企業と求職者(高卒での就職希望者を含む)のマッチングを図り、人材確保、定着に繋げる。</p> <p>また、市内外の高校生の玉野地区の企業に対する理解を深め、玉野地区への就職と定着を促進するため、玉野地区雇用開発協会による「マリン玉野産業フェア」の開催を支援する。</p>	商工観光課	<p>「マリン玉野産業フェア」の事業費補助、「オンライン合同企業勉強会」の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止及び準備に留まった。</p> <p><マリン玉野産業フェア> 中止</p> <p><オンライン合同企業勉強会> 必要な機器の一部を購入 ・液晶モニター ・WEBカメラ ・スピーカーフォン</p>	197,450	<p>「オンライン合同企業勉強会」により、高校生に対する地元企業の紹介を実施し、地元企業への認識を深め、将来の地元就職の促進を図った。</p> <p>事業費補助を予定していた「マリン玉野産業フェア」については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。</p> <p><オンライン合同企業勉強会> ・日時 令和5年3月15日(水) 8:55~11:45 ・場所 玉野商工高等学校、産業振興ビル、参加企業をオンラインで接続 ・参加 玉野商工高等学校 1年生 107名 市内事業者 14者</p> <p><マリン玉野産業フェア> 中止</p>	289,621
7	地域人づくり大学事業	<p>地域を支える市民が行う各種活動に役立つ知識を習得する場として「地域人づくり大学」を開校し、地域活動における様々な場面で活躍できる人材を育成する。</p>	社会教育課	<p>多様な学習機会を提供し、地域での活動に役立つ知識・技術、人材育成のきっかけづくりを行った。各コースにおいて新型コロナウイルス感染拡大に伴い、講座の開催ができなかった。</p> <p>[地域生活サポーター養成コース] ・講座回数 0回 ・延べ受講者数 0人</p> <p>[コミュニティビジネスコース] ・講座回数 3回 ・延べ受講者数 60人</p> <p>[知って得するコース] ・講座回数 3回 ・延べ受講者数 47人</p> <p>[開校記念講演(オンライン)] ・受講者数 76人</p>	1,004,241	<p>多様な学習機会を提供し、地域での活動に役立つ知識・技術、人材育成のきっかけづくりを行った。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、講座の開催が少なかった。</p> <p><開校式・閉校式(オンライン)> ・講座回数 2回 ・延べ受講者数 67人</p> <p><オンラインを除く> ・講座回数8回 ・延べ受講者数 1,149人</p>	1,134,066

No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度事業実績		令和4年度(第2期計画2年目)事業実績	
				取組内容	決算額(円)	取組内容	決算額(円)
8	講座開催事業	芸術講座、スポーツ基礎講座、現代知識講座、ふれあい教室等、多種多様な講座・イベントを開催することで、生涯学習や継続的な社会参加を推進する。	社会教育課	生涯学習センター講座及びイベント等を開催して生涯学習の推進を図った。新型コロナウイルス感染拡大により、定期講座(全11講座)126回のうち72回、7つのイベントのうち3つが中止となった。 ・芸術講座、スポーツ基礎講座、現代知識講座、ふれあい教室等(12講座等) ・参加者数 延べ900人	550,342	生涯学習センター講座及びイベント等を開催して生涯学習の推進を図った。新型コロナウイルス感染拡大により、定期講座は1講座が中止、7つのイベントのうち6つが入場制限を行い開催した。 ・芸術講座、スポーツ基礎講座、現代知識講座、ふれあい教室等(14講座等) ・参加者数 延べ1,300人	966,133
	講座事業			定期講座、特別講座等を各公民館で開催し、市民の文化・趣味娯楽の充実に努めた。 定期講座(内容) 講座回数 受講者数 中央(俳句講座等21講座) 320回 5,287人 田井(健康料理教室等2講座) 12回 98人 日比(地踊り講習会等2講座) 11回 165人 荘内(男性料理教室等2講座) 11回 154人 八浜(はがき絵講座等4講座) 27回 384人 山田(卓球教室講座) 84回 518人 計(32講座) 465回 6,606人 ※自主講座・サークル活動(329グループ) ・中央公民館特別講座(1講座) 受講者数 11人 ・中央公民館ワークショップ 1回 参加者数 30人 新型コロナウイルス感染症の影響により定期講座・特別講座が中止となった。	154,874	定期講座、特別講座等を各公民館で開催し、市民の文化・趣味娯楽の充実に努めた。 定期講座(内容) 講座回数 受講者数 中央(俳句講座等22講座) 357回 5,758人 田井(健康料理教室) 12回 97人 玉原(シニア・スマホ教室)2回 23人 荘内(男性料理教室等2講座)20回 251人 八浜(はがき絵講座等4講座) 44回 604人 山田(卓球教室講座) 135回 958人 計(31講座) 570回 7,691人 ※自主講座・サークル活動(323グループ) ・中央公民館特別講座(8講座) 受講者数 296人 ・中央公民館ワークショップ 4回 参加者数 392人	190,000
9	障害者スポーツ推進事業	市内の体育施設等で、障害者と健常者が同様に楽しめる障害者スポーツの普及事業を行うことで、スポーツを通じた共生社会の実現を図る。	社会教育課	スポーツを通じた共生社会の実現に向けて、スポーツ庁において平成30年度から実施されている「地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業」を引き続き活用し、市立体育施設と連携して本市の「たまの版生涯活躍のまち(CCRsea)」にも掲げる、障害者スポーツの推進に取り組んだ。(指定管理者の事業として実施) ・親子体操 8月7日 玉野市総合体育館 参加者32名 ・車椅子バスケットボール体験 11月20日 第二日比小学校体育館 参加者14名 このほか、指定管理者による自主事業イベント 参加者473名	—	スポーツを通じた共生社会の実現に向けて、スポーツ庁において平成30年度から実施されている「地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業」を引き続き活用し、市立体育施設と連携して本市の「たまの版生涯活躍のまち(CCRsea)」にも掲げる、障害者スポーツの推進に取り組んだ。(指定管理者の事業として実施) ・研修 11月29日 玉野市人権教育課題別研修「障害スポーツ体験」参加者17名 2月17日 玉野市スポーツ少年団指導者育成会研修会「障害者スポーツ体験」参加者35名 ・車椅子バスケットボール体験 6月15日 鉾立小学校体育館 参加者10名 10月15日 宇野小学校体育館 参加者27名 ・親子体操 8月6日 玉野市総合体育館 参加者18名 このほか、指定管理者による自主事業イベント 参加者875名	—
10	コミュニティ協議会運営補助事業	コミュニティを基盤とした各種の地域福祉活動を推進・活性化するため、玉野市コミュニティ協議会への運営補助を行う。	協働推進課	地域のコミュニティ活動の推進と活性化を図る玉野市コミュニティ協議会への運営補助を行った。 <玉野市コミュニティ協議会の主な事業> ・コミュニティ活動補助事業 玉野市コミュニティ協議会に所属する各団体の地域活動に要する経費に対して、補助金の交付を行った。 ・グラウンドゴルフ大会・コミュニティの集い 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、プログラムの見直しを行い、コミュニティの集いのうち「コミュニティ活動功績者表彰式」のみ実施した。	1,350,000	地域のコミュニティ活動の推進と活性化を図る玉野市コミュニティ協議会への運営補助を行った。 <玉野市コミュニティ協議会の主な事業> ・コミュニティ活動補助事業 玉野市コミュニティ協議会に所属する各団体の地域活動に要する経費に対して、補助金の交付を行った。 ・グラウンドゴルフ大会・コミュニティの集い 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、プログラムの見直しを行い、コミュニティの集いのうち「コミュニティ活動功績者表彰式」のみ実施した。	1,350,000

No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度事業実績		令和4年度(第2期計画2年目)事業実績	
				取組内容	決算額(円)	取組内容	決算額(円)
11	協働のまちづくり推進事業	市民協働による地域の活性化と特色ある地域づくりを推進するため、市内の自治会・町内会やNPO・ボランティア団体などの各種団体が行う社会貢献活動に対して財政的な支援を行う。	協働推進課	<p><協働のまちづくり事業補助> 自治会・町内会やNPO・ボランティア団体等の各種団体が行う社会貢献活動に対して支援を行い、市民協働による地域の活性化と特色ある地域づくりの推進を行った。</p> <p>7団体 1,058,605円</p> <p>行政提案型協働のまちづくり事業として「地域人材の育成及び発掘」をテーマに公募し、事業採択を受けた中間支援組織が地域の課題解決に取り組む活動に対して、補助金の交付を行った。</p> <p>1団体 500,000円</p> <p><有害獣被害防止事業補助> 自治会等が、有害獣(イノシシ)による被害防止目的に設置する柵の新設と、維持管理に必要な経費の一部に対して、支援を行った。</p> <p>9地区 2,178,341円</p>	3,748,415	<p><協働のまちづくり事業補助> 自治会・町内会やNPO・ボランティア団体等の各種団体が行う社会貢献活動に対して支援を行い、市民協働による地域の活性化と特色ある地域づくりの推進を行った。</p> <p>9団体 1,565,453円</p> <p>行政提案型協働のまちづくり事業として「地域人材の育成及び発掘」をテーマに公募し、事業採択を受けた中間支援組織が地域の課題解決に取り組む活動に対して、補助金の交付を行った。</p> <p>1団体 500,000円</p> <p><フォローアップ事業実施委託料> 協働のまちづくり事業補助をより効果的なものとするため、申請前から事業終了後まで継続的に補助決定団体の支援を行った。 ・委託先 玉野SDGsみらいづくりセンター</p> <p><有害獣被害防止事業補助> 自治会等が、有害獣(イノシシ)による被害防止目的に設置する柵の新設と、維持管理に必要な経費の一部に対して、支援を行った。</p>	4,230,537
12	シルバー人材センター運営補助事業	社会参加を希望する高齢者の就業機会の増大と福祉の増進を図るため、就労を希望する会員に、長年の経験で培った知恵と技術を活かした就労機会の提供や社会参加を促すとともに、生きがいを持って生活できる環境づくりなどの事業を担うシルバー人材センターへ運営補助を行う。	長寿介護課	<p>社会参加を希望する高齢者の就業機会の増大と福祉の増進を図るため運営費を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員数 男 156人、女 64人(令和4年3月31日現在) ・受注件数 3,595件 ・収益金額 96,458,285円 ・就業実人員 186人 ・事業内容 就業機会の提供、就業に必要な知識及び技能を付与するための講習 	12,739,000	<p>社会参加を希望する高齢者の就業機会の増大と福祉の増進を図るため運営費を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員数(令和5年3月31日現在) 214人(男 149人、女 65人) ・受注件数 3,505件 ・収益金額 95,044,266円 ・就業実人員 177人 ・事業内容 就業機会の提供、就業に必要な知識及び技能を付与するための講習 	10,739,000
13	障害者就労相談支援事業	就労支援を必要とする障害者について、就労の機会を広げるとともに、同じ職場に安心して働き続けられるように、就労面と生活面を一体的に支援する。	福祉政策課	<p>就労に関わる支援を必要としている障害者に、一般就労の機会を広げるとともに、同じ職場で安心して働き続けられるように、就労面と生活面の支援を一体的に提供した。</p> <p>令和3年度より支援員を2名増員し窓口を3人体制として機能を強化するとともに、障害者就労相談支援事業を直営化し、相談窓口を一本化して支援に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 704件 ・対応者数 51名 	8,910,478	<p>就労に関わる支援を必要としている障害者に、一般就労の機会を広げるとともに、同じ職場で安心して働き続けられるように、就労面と生活面の支援を一体的に提供した。</p> <p>令和3年度より支援員を2名増員し窓口を3人体制として機能を強化するとともに、障害者就労相談支援事業を直営化し、相談窓口を一本化して支援に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 1,755件 ・対応者数 60名 	9,222,945

No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度事業実績		令和4年度(第2期計画2年目)事業実績	
				取組内容	決算額(円)	取組内容	決算額(円)
14	公共交通運営事業	高齢者、障害者等の交通弱者の移動手段や交通利便性を確保し、社会参画の促進にも貢献する「シーバス」「シータク」「石島航路」といったコミュニティ交通への運営費補助を行う。	公共施設 交通政策課	<p><公共交通運行評価検証業務委託料> 公共交通利用者に関するデータを分析し、評価・検証並びに利用促進の取組みや運行の効率化に係る各種支援業務を委託した。</p> <p><公共交通利用促進対策委託料> バスの利用促進を図るため、小学生を対象としたバスの乗り方教室事業を委託した。</p> <p><乗合タクシー配車システム運用業務委託料> 乗合タクシー「シータク」のコールセンターの効率化を図るため、シータクの自動配車システムに係る運用業務を委託した。</p> <p><コミュニティバス事業運営費補助> ・運行に係る補助金 22,728,329円 ・車両購入等補助金 3,819,000円 ※新型コロナウイルス感染症の影響により補助額が増加</p> <p><乗合タクシー事業運営費補助> ・運行に係る補助金 18,767,500円 ・コールセンター費用 12,320,150円 ※新型コロナウイルス感染症の影響により補助額が増加</p> <p><石島航路運航補助> ・運航に係る補助金 4,509,300円 ※新型コロナウイルス感染症の影響により補助額が増加</p> <p>民間バス事業者1社及び市内タクシー事業者3社に補助金を交付し、子どもや高齢者、障害者等の交通弱者に対する移動手段の確保、市内公共施設等へのアクセス向上と交通不便地域の解消、高齢者の外出機会の支援と地域間交流の促進を図った。</p> <p>また、石島港と宇野港を結ぶ石島航路の運航を行う1事業者に補助金を交付し、離島の生活交通手段の確保を図った。</p> <p>・コミュニティバス(シーバス)利用者数 63,734人 ・乗合タクシー(シータク)利用者数 30,315人 ・石島航路利用者数 1,068人</p>	68,652,729	<p><公共交通運行評価検証業務委託料> 公共交通利用者に関するデータを分析し、評価・検証並びに利用促進の取組みや運行の効率化に係る各種支援業務を委託した。</p> <p><公共交通利用促進対策委託料> バスの利用促進を図るため、小学生を対象としたバスの乗り方教室事業を委託した。</p> <p><乗合タクシー配車システム運用業務委託料> 乗合タクシー「シータク」のコールセンターの効率化を図るため、シータクの自動配車システムに係る運用業務を委託した。</p> <p><コミュニティバス事業運営費補助> ・運行に係る補助金 25,844,000円 ・車両購入等補助金 3,819,000円</p> <p><乗合タクシー事業運営費補助> ・運行に係る補助金 23,311,600円 ・コールセンター費用 11,772,000円</p> <p><石島航路運航補助> ・運航に係る補助金 4,708,960円</p> <p>民間バス事業者1社及び市内タクシー事業者3社に補助金を交付し、子どもや高齢者、障害者等の交通弱者に対する移動手段の確保、市内公共施設等へのアクセス向上と交通不便地域の解消、高齢者の外出機会の支援と地域間交流の促進を図った。</p> <p>また、石島港と宇野港を結ぶ石島航路の運航を行う1事業者に補助金を交付し、離島の生活交通手段の確保を図った。</p> <p>・コミュニティバス(シーバス)利用者数 84,201人 ・乗合タクシー(シータク)利用者数 32,414人 ・石島航路利用者数 1,160人</p>	73,416,207
15	障害者タクシーチケット助成事業	障害者が外出しやすい環境を整備するため、一定の要件を満たす者にタクシーチケットを配付する。	福祉政策課	<p>重度心身障害者が住み慣れた地域で暮らしやすい環境を整備するため、交通機関を利用する支援として、タクシーを利用する際にその料金の一部を助成した。</p>	736,500	<p>重度心身障害者が住み慣れた地域で暮らしやすい環境を整備するため、交通機関を利用する支援として、タクシーを利用する際にその料金の一部を助成した。</p> <p><対象者 市民税非課税世帯> ・身体障害者手帳 1・2級 ・療育手帳 A ・精神障害者保健福祉手帳 1級</p> <p><支給額> ・1枚500円×4枚×12月=24,000円(最大)</p> <p><支給実績> ・112人 ・500円×2,086枚=1,043,000円</p>	1,143,320